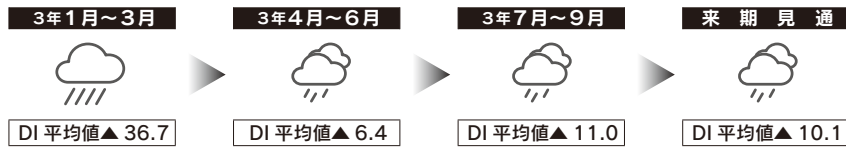


県内中小企業(製造業)景況動向

令和3年7月～9月期

一部回復の兆しが見られるも厳しい状況継続、来期も明るさ見えず

本会調査結果概要



※DI 平均値=(売上高DI+収益性DI)÷2

DI 平均値(同期比)については▲11.0となり、前回調査(3年4-6月期)の▲6.4から4.6ポイント下降している。来期見通しにおいては0.9ポイント上昇して▲10.1となっている。

<概況>

回収率：52.6% (263社)

平均従業員数：55.9人

売上高DI (同期比)			収益性DI (同期比)			業況DI (同期比)		
前期	今期	「減少」	前期	今期	「悪化」	前期	今期	「悪化」
▲3.7	▲6.5	▲2.8P	▲9.0	▲15.4	▲6.4P	▲11.8	▲13.7	▲1.9P
原材料価格DI (前期比)			販売価格DI (前期比)			資金繰りDI (前期比)		
前期	今期	「上昇」	前期	今期	「上昇」	前期	今期	「好転」
42.0	50.9	+8.9P	0	0.7	+0.7P	▲20.7	▲20.3	+0.4P
金融機関の態度DI (前期比)			設備操業率DI (前期比)			設備投資実施率 (前期比)		
前期	今期	「緩和」	前期	今期	「上昇」	前期	今期	「上昇」
▲2.9	▲1.9	+1.0P	▲18.7	▲16.3	+2.4P	23.1%	29.3%	+6.2P

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲52.9	▲7.2	▲43.7	▲17.1

同期比の売上高DIは▲39.6、収益性DIは▲47.7で、両方を合わせたDI 平均値は▲43.7となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは26.6ポイントの大幅上昇で▲17.1となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲41.7、収益性DIは▲53.4となった。

また、雇用人員判断DIは▲6.9、設備操業率DIは▲28.6、設備投資実施率は43.5%、来期の設備投資計画率は37.2%となった。

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲48.5	▲29.6	▲26.7	▲28.3

同期比の売上高DIは▲23.3、収益性DIは▲30.0で、両方を合わせたDI 平均値は▲26.7となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは1.6ポイントの下降で▲28.3となり「小雨」模様が続く見通しになっている。





なお、前期比の売上高DIは▲36.7、収益性DIは▲38.1となった。

また、雇用人員判断DIは5.0、設備操業率DIは▲28.5、設備投資実施率は20.0%、来期の設備投資計画率は27.3%となった。





業種別景況動向

※雇用人員判断DI = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合





木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲48.7	▲13.6	▲36.1	▲8.3
<p>同期比の売上高D Iは▲27.8、収益性D Iは▲44.4で、両方を合わせたD I平均値は▲36.1となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは27.8ポイントの大幅上昇で▲8.3となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲44.5、収益性D Iは▲55.6となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは5.9、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は11.1%、来期の設備投資計画率は18.8%となった。</p>			





紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲46.7	▲3.6	0.0	▲9.1
<p>同期比の売上高D Iは18.2、収益性D Iは▲18.2で、両方を合わせたD I平均値は0.0となり「曇」模様が続けている。来期見通しは9.1ポイントの下降で▲9.1となり「小雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲18.2、収益性D Iは▲27.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは18.2、設備操業率D Iは9.1、設備投資実施率は9.1%、来期の設備投資計画率は22.2%となった。</p>			





窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲14.8	▲18.9	▲34.1	▲32.6
<p>同期比の売上高D Iは▲35.7、収益性D Iは▲32.4で、両方を合わせたD I平均値は▲34.1となり「雨」模様へ転じている。来期見通しは1.5ポイント上昇して▲32.6となり「雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲35.7、収益性D Iは▲29.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは16.2、設備操業率D Iは▲29.7、設備投資実施率は23.8%、来期の設備投資計画率は28.9%となった。</p>			





金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲10.7	41.9	34.3	22.9
<p>同期比の売上高D Iは50.0、収益性D Iは18.5で、両方を合わせたD I平均値は34.3となり「晴れ」模様が続けている。来期見通しは11.4ポイントの下降で22.9となり「薄日」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは11.8、収益性D Iは▲7.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは11.1、設備操業率D Iは▲3.7、設備投資実施率は33.3%、来期の設備投資計画率は41.9%となった。</p>			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲45.4	▲16.8	14.0	5.0
<p>同期比の売上高D Iは13.3、収益性D Iは14.6で、両方を合わせたD I平均値は14.0となり「薄日」模様へ転じている。来期見通しは9.0ポイントの下降で5.0となり「曇」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲1.4、収益性D Iは▲3.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは10.2、設備操業率D Iは▲1.7、設備投資実施率は31.3%、来期の設備投資計画率は39.0%となった。</p>			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲32.2	54.5	8.8	▲30.4
<p>同期比の売上高D Iは8.4、収益性D Iは9.1で、両方を合わせたD I平均値は8.8となり「曇」模様へ転じている。来期見通しは39.2ポイントの大幅下降で▲30.4となり「雨」模様へ転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲16.6、収益性D Iは▲25.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは8.3、設備操業率D Iは▲33.4、設備投資実施率は41.7%、来期の設備投資計画率は33.3%となった。</p>			

※雇用人員判断D I = 「不足」企業割合 - 「過剰」企業割合